

た
ろ
氷

たる氷

高沢晋之助

短歌研究社

昭和四十六年二月十一日 発行 ◎

歌集 たる 氷 定価二二〇〇円

著 者 高 沢 晋 之 助

郵便番号三六一
埼玉県行田市長野三四〇八

発行者 小 野 昌 繁

郵便番号一〇二
東京都千代田区二番町八番地

発行所 短歌研究社

郵便番号一〇二
東京都千代田区二番町八番地

電話(二六一)八六七八番
振替(東京)二四三七五番

印刷者 厚地信義
製本者 山田五郎

落丁本・乱丁本はお取替いたします。

1 目次

たる氷 目次

塔寂寞

塔寂寞……………二

法起寺……………一六

西の京……………二〇

あさかげ……………二四

石段……………二六

高麗犬……………二六

雪と海鷗

春は海より……………三

雪と海鷗……………三五

小閑……………三九

舟釣り……………四三

たまゆら……………四五

花と海……………四七

風蝶花

芳春院……………六一

風蝶花……………六六

石……………六八

くらま……………七一

斜光……………七五

日々是なすなし……………七七

比叡……………八一

3 目次

北山杉	八六
はたの音	八九
草居身辺	
草居身辺	九五
三宝荒神さん	一〇九
砂利の道	一一一
茸とり	一二五
豆たたき	一二九
風と波と	一三三
谷川岳	一三五
柚	一三七
祈り	一三九
たなうらに	一四一

おどろきは……………一四三

春はあさ……………一四五

風布行……………一四七

挽歌……………一五二

天長節に……………一五五

秋山さんを憶ふ……………一五九

やまと淹留

序のうた……………一六七

風花と鹿……………一七一

西の京……………一八一

春寒……………一八九

おに……………一九三

いかるが……………一九七

5 目次

客舎にて……………	二〇一
秋篠寺……………	二〇三
探春行……………	二〇五
京都……………	二一三
参考館……………	二二三
華やかな火……………	二二七
酒望子……………	二三一
紅梅……………	二三七
朱の橋……………	二四五
馬酔木の房……………	二四九
風声……………	二五五
犀角の如く……………	二六一
春昼対瀑……………	二六九

た
る
氷

塔
寂
寞

塔
寂
寞

たびびとや
ならふたびを
あめうすくふる

法隆寺松のみどりに映ゆる塔寂寞として空を
限りぬ

色あせし厨子の台座の蜜陀僧絵見入り息つむ
秋の旅人

夢殿の御厨子は少し暗かりき救世観音を見き
はめんとし

夢殿の救世観音の御前に欲界餓鬼は空にて
待す

やりかななあとめもしるきおん扉ゆびにふれ
つつ、秋の雨きく

寺々の女餓鬼男餓鬼はすこやかにいくさのた
びも焼かれずに住む

くだらなる異形の僧の移り住み奈良の御寺に
経をよみけむ

天の下知ろし召すとてうからやから討たざれば望みならざる悲惨

悠遠な如来の姿刻られしは骨肉相うつその人にして

たたかひにあけくれしゆゑみ仏の大悲大慈に
帰依しあふぐも